

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年4月30日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C			
横断的な課題	雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保							
地域重点政策	雪国の暮らしを支えるライフライン、地域医療など生活基盤の維持と確保					北信地域振興局		
実施機関	北信地域振興局			担当課	所属	環境課		
事業名	地域の資源を活かしたゼロカーボンの推進事業				電話	8-247-281		
				E-mail	hokuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp			
事業の概要	目的 (目指す姿)	市町村や民間事業者が進める小水力、太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギー導入の取組支援や、活用事例の情報発信等を通じて、エネルギーの地消地産を促進する。また、気候変動、環境問題、ゼロカーボンの取組を学ぶ場の提供や、再生可能エネルギーへの理解を深めることを通じた、地域住民の脱炭素社会づくりへの機運の醸成を図る。						
	現状と課題	北信地域は多雪地帯のため、再エネの導入実績が限られており、大きなポテンシャルを持つ地熱や小水力等については、事例の少なさから専門的な見地の議論が行われない傾向がある。加えて、エネルギー源を化石燃料に頼っている割合も高く、2050年に向けて再生可能エネルギー源の確保について検討する必要がある。このため、専門家の派遣による客観的なデータをもとに知見を高めていく必要がある。 昨年度はこの推進費を活用し、地熱発電や雪国太陽光設置の構造設計等について市町村が取組を検討する際に、専門家派遣により支援する事業を実施したが、客観的なデータをもとに知見を高めていくため今後も継続する必要がある。また同様に飯山高校教室断熱の事前学習会や教室断熱のワーキンググループの支援を行ったが、こちらも継続する必要があるため他事業にて支援していく予定である。 また、普及が遅れている雪国太陽光の促進が必要であり、県民への普及を関心を持ちやすい形で進める必要がある。						
	内容 (変更後の内容)	雪国太陽光住民向け情報発信事業 普及拡大段階となる雪国太陽光について、今年度新設の雪国太陽光設置モデル創出事業補助金や昨年度作成したガイドブックの概要を掲載したリーフレットを作成する。 ・住民向け雪国太陽光普及啓発リーフレット作成 カラーA4 2,562部						
	事業期間	令和7年6月		～	令和8年3月			
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	雪国太陽光住民向け情報発信事業	リーフレット印刷代	76,347	コピー代(カ7-@14.9円×2(両面)×2,562枚)				
	合計		76,347					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	雪国太陽光設置モデル創出事業補助金申請件数		10件	3件	○ 達成			
					○ 一部達成			
					● 未達成			
事業実績・成果	【事業実績】 ・雪国太陽光住民向け情報発信事業 6年度末に完成した「雪国・住宅太陽光発電ガイドブック」と令和7年度新設の雪国太陽光設置に係る補助金を広く周知するためリーフレットを作成し、HP、各種環境イベント、北信・北ア・長野地局でのゼロカーボンミーティングでPRした。 【成果】 雪国太陽光住民向け情報発信事業 補助金を活用した太陽光パネル設置は目標に届かなかったが、HP、関係地域振興局、市町村、環境イベント等を通じて広くPRすることができた。 【関連事業】 ・「使用済みきのご培地リサイクル施設」建設(JA中野市)に向けて再生可能エネルギーの専門家派遣事業を活用し、課題の整理とその検討を行った。 ・中野立志館高校にてYKKAP(株)長野支店と共に事前学習(ゼロカーボン・断熱改修)を実施し、飯山市立城南中学校でのプレ断熱改修ワークショップに中野立志館の生徒とともに参加。なおアンケートは、本番のワークショップ実施日に生徒の資格試験(国家試験)が重なり、参加できなかったため中止とした。							
	今後の方向性	脱炭素社会の実現に向け、各プロジェクトへの支援(専門家派遣)を、段階に応じて継続的に実施する。						